

令和 2年度 施策評価シート（令和元年度実績評価）

政策 04 快適に暮らせるまち
施策 04 上下水道事業の安定持続
主管課： 上下水道課
関係課： 生活環境課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市民	安定した水道水供給と汚水処理ができるよう、上下水道事業を持続する。

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

安全な水道水が、安定的に供給されていると感じている市民の割合（％）上下水道課					
基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
88.80	89.50	91.10	90.00		90.00
向上指針	上がると良い	（状況）昨年度との比較では1.6ポイント増加し、ほぼ同様となっています。目標値との比較では1.1ポイント上回りました。 （原因）アンケートの結果、昨年度との比較では、石綿セメント管や鉛製給水管の更新工事を実施した守谷地区や南守谷地区で増加しました。適切な更新事業への取組みや、10月に上下水道料金の消費増税相当分を値下げしたことも満足度が高くなった要因と考えられます。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

下水道放流水質基準の適合率（％）上下水道課					
基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
100.00	100.00	100.00	100.00		100.00
向上指針	上がると良い	（状況）昨年度同様、基準値及び目標値と同じ100％です。 （原因）浄化センターの適正な運転管理及び維持管理に努め、老朽化設備の改築更新を計画的に行ったほか、事業所排水調査に基づく適切な事業所への指導により、安定的な汚水処理を実施したため、基準値及び目標値を達成できたと考えられます。			
対前年度	維持				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	3,559,086	4,277,377	4,157,851	4,864,856	4,799,911
人件費	90,376	99,368	95,181	0	0
トータルコスト	3,649,462	4,376,745	4,253,032	4,864,856	4,799,911

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向					事業費				
						H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度
01 水道水の安定供給	維持	向上				992, 498	1, 128, 239	1, 127, 095	1, 155, 220	1, 295, 012
02 汚水の安定処理	維持	向上				637, 305	983, 147	753, 293	934, 823	1, 054, 087
03 雨水の適正排水	維持	維持				8, 896	57, 150	21, 374	39, 890	44, 320
04 健全な上下水道事業の経営	向上	向上				156, 147	235, 327	227, 171	234, 261	348, 542
99 施策の総合推進						1, 764, 240	1, 873, 514	2, 028, 918	2, 500, 662	2, 057, 950

5 施策全体の取組状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

老朽化した浄水施設を廃止し水源を全て県受水に転換して費用を抑制しました。また、設備台帳に基づき固定資産や減価償却費等を見直し平成30年度決算を修正するとともに、収益的収支に計上していた消火栓や鉄蓋の交換費用を資本的収支に組替え適正な財務諸表に見直しました。これらの取組みにより経営戦略に基づき今後10年の財政収支を見通した結果、安定経営が見込まれたため消費増税相当分の料金値下げが実現しました。 令和2年度からは上下水道諸計画に基づく更新事業に着手しますが、国の要請を受け新たに耐震化事業に着手するため、適宜経営戦略を見直し、安定経営に取り組む必要があります。	推進状況	順調
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

安定した水道水供給と汚水処理ができるよう、平成30年度に策定した上下水道事業の経営戦略に基づき、老朽化施設の更新の平準化を図り、健全かつ安定的な経営に努めます。	成果方向性	向上
	コスト方向性	削減

次年度の方向性

安定した水道水供給と汚水処理ができるように、経営戦略に基づく老朽化施設の更新事業とともに、新たに加わった総合地震対策計画に基づく耐震化事業を計画的に進め、適宜経営戦略を見直し、健全かつ安定的な経営に努めます。	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加